

とす 市議会だより

第151号

平成24年2月1日

住みたくなるまち 鳥栖

編集発行 鳥栖市議会
鳥栖市宿町1118
電話 85-3525

夢叶う



サガン鳥栖 J1 昇格パレードで鳥栖駅前通りは約2万人の市民やサポーターで埋め尽くされました

11月
12月
臨時市議会

鳥栖市議会基本条例を制定

サガン鳥栖 J1 昇格祝意の決議を可決

一般会計補正予算を修正可決

一般質問...6~9

17人が質問

- ◆主な事業と予算額.....4
- ◆付議事件と議決結果.....4
- ◆常任委員会審査報告.....5
- ◆意見書・決議・陳情.....10
- ◆議会日誌.....10

12月定例会

12月定例会は12月1日から20日まで開かれ、正副議長の選挙、常任委員の選任、市長提出議案26件、議員提出議案10件の審議のほか17人の議員が一般質問を行いました。

再提案された音楽祭に関する予算を修正

鳥栖市議会基本条例を制定

音楽祭について再び議論

今定例会では、前回9月の定例会で削除されていた音楽祭関係の予算が再び提案されました。

予算を審査した文教厚生常任委員会では、音楽祭委託料500万円を減額し、同額を予備費に補正するとともに、音楽祭委託料2000万円の債務負担行為を削除する修正案が提出されましたが、修正案は賛成少数で否決しました。

修正案を賛成多数で可決

本会議では、音楽祭委託料2000万円の債務負担行為を500万円に減額する修正案が提出され、その審議を行いました。

修正の理由として、「一度を超えた行政のかかわりは避けるべき。国保税改定で市民への負担をお願いしている中、優先すべき課題は

たくさんある。もともと学校の音楽予算を増やすべき」などの説明がありました。

これに対し、「委託契約を無視した減額は債務負担行為という制度の趣旨にな

じまないのではないか。減額して実施可能なか。減額する担保は何か。収入の目減りへの対応策は何か」

などの質疑があり、提出議員から「予算の範囲の中で出演費、期間、ボランティアによる支援、経費もかかる部分の協力、期間の短縮も含め、その中で考えていくべき。当初、1回目のときより増額しており、

できないわけではない。できるので担保は必要ない。1000万円で行うという提案で

あり、事業をされるのは実行委員会である」などの答弁がありました。

質疑のあと、修正案の賛成議員からは、「市長の考える施策の優先順位に同意できない。合意形成が十分図られていない」などの討論があり、修正案への反対

議員からは、「音楽祭に求められた多くの方は、質の高い音楽に触れ、来年の開催に期待を寄せられていた。ことし鳥栖市で誕生した音楽祭を温かく見守り、しか

鳥栖市議会基本条例を制定

今定例会には、昨年10月に市議会だより臨時号でお知らせし、皆さまからのご意見もいただきながら作成した「鳥栖市議会基本条例案」が議員提出議案として上程されました。

この条例で鳥栖市議会は、「二元代表制のもと市長と独立・対等の立場で、また合議制の議事機関として議員間での自由闊達な討議を重ねること、市長等による政策決定並びに事務の執行についての監視及び評価を行うとともに、積極的に政策立案及び政策提言を行うものとする」「市民との対話を行い、その声を汲み取りながら、市民に身

る後に自主運営ができるまで育てていくことが肝要」などの議論がありました。

採決の結果、修正案を賛成多数で可決しました。

近な信頼される議会を目指しつつ、議会の権限を発揮し、その責務を果たしていくことで、本市における民主主義の発展と市民福祉の向上を図らなければならない」としています。

条例案は、本会議において、賛成多数で原案のとおり可決しました。

条例制定にあたり、パブリックコメント、また市民説明会では皆さまからの貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

なお、鳥栖市議会基本条例の条文、いただいたご意見への市議会の考え方は鳥栖市議会のウェブサイトに掲載しています。

新たに 正副議長を選出

今定例会では、齊藤正治議長、尼寺省悟副議長がそれぞれ議長、副議長を辞職し、後任の正副議長を選出するための選挙を行いました。議長には指名推選で齊藤正治議員を再度選出、副議長には投票で新しく内川隆則議員を選出しました。



齊藤正治議長
(自民クラブ)



内川隆則副議長
(社会民主党議員団)

新たな委員会構成

条例に定められた常任委員会の任期（2年）、議会運営委員会の任期（1年）が満了したこと、各委員会についても、新しい委員を選任しました。

また、今まで4つだった常任委員会の数が3つになりました。新たな委員会構成

成は以下のとおりです。
◎委員長、○副委員長、カッコ内は所属党派

■総務常任委員会

- ◎尼寺省悟（日本共産党議員団）
- 松隈清之（天桜会）
- 光安一磨（政友会）
- 小石弘和（誠和会）
- 齊藤正治（自民クラブ）
- 久保山日出男（自民クラブ）
- 中村直人（社会民主党議員団）

■建設経済常任委員会

- ◎古賀和仁（自民クラブ）
- 国松敏昭（公明党）
- 内川隆則（社会民主党議員団）
- 成富牧男（日本共産党議員団）
- 藤田昌隆（新風クラブ）
- 中川原豊志（政友会）
- 江副康成（天桜会）
- 中村圭一（自民クラブ）

■文教厚生常任委員会

- ◎酒井靖夫（自民クラブ）
- 佐藤忠克（誠和会）
- 森山 林（自民クラブ）
- 太田幸一（公明党）
- 田中 稔（新風クラブ）
- 柴藤泰輔（天桜会）
- 下田 寛（民主クラブ）

■議会運営委員会

- ◎中村圭一（自民クラブ）
- 佐藤忠克（誠和会）

平成22年度 決算を認定

今定例会では、閉会中に決算特別委員会と水道事業決算特別委員会において継続審査を行った、平成22年度の決算関係10議案について審議を行いました。

決算特別委員長と水道事業決算特別委員長がそれぞれ委員長報告を行い、採決の結果、一般会計と水道事業会計は賛成多数で、そのほかの会計は全会一致で決算を認定しました。

決算特別委員会 審査報告概要

審査の過程で、補助金や委託料、流用や不用額、国保の累積赤字、食の自立支援、中学校弁当給食、企業立地奨励金や環境保全奨励金についてなどの質疑を行いました。

また、補助金や委託料に對しての適切な財政運営、不納欠損や収入未済と不用額の対応、民生・児童委員の活動費に対する予算対応についてなどの要望をしました。

水道事業決算特別委員会 審査報告概要

審査の過程で、純利益の処分と料金のあり方、ダム使用権取得経費と有効活用、給水件数の推移状況と大口需要者、保存工事の工事件数、下水道賠償責任保険の内容、水酸化促進への具体的な取り組みについてなどの質疑を行いました。

また、下水道処理場などの施設に対する投資と企業債の償還、下水道事業の将来の見通しについてなど、意見・要望をしました。

11月臨時会

11月30日に開かれた臨時会では、人事院勧告に準じた条例の一部改正案と総務常任委員会の継続審査となっていた国民健康保険案

例の一部改正案を審議しました。

国民健康保険条例の一部改正は、市長が国保税を段階的に値上げをするよう原案を訂正しました。採決の結果、2議案とも賛成多数で可決しました。

◆11月臨時会の付議事件と議決結果

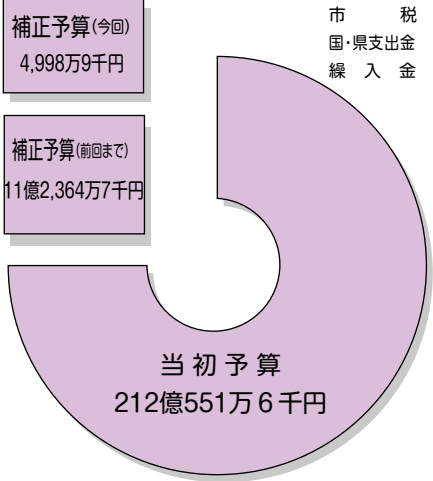
市長提出議案	件名	議決結果
国民健康保険条例の一部改正 〔国民健康保険税の税率等の改定〕		原案可決（賛成多数）
市職員の給与に関する条例等の一部改正 〔人事院勧告に準じた職員給与の改定〕		

平成23年度 一般会計補正予算

補正額
4,998万9千円
既決予算との合計
223億7,915万2千円

【主な歳入】

市税 1億1,200万円
国・県支出金 △9,053万3千円
繰入金 △1,638万8千円



【主な事業と予算額】

- 障害者自立支援給付費 1億1,120万6千円
- 子ども手当 △2億3,778万1千円
子ども手当の支給月額の改正等に伴うもの
- 県営かんがい排水事業(鳥栖地区)負担金 400万円
- 県営水利施設整備事業(鳥栖南部地区)負担金 375万円
- 温泉給水管営繕工事 250万円
- 新鳥栖駅開業1周年記念イベント委託料 100万円
- 平田・養父線交通安全施設等整備事業 2,800万円
- 住宅リフォーム緊急助成事業 652万2千円
- 朝日山公園整備工事 48万円
- 九州新幹線鹿児島ルート建設事業負担金 513万8千円
- 公務災害補償組合負担金 756万9千円
東日本大震災に伴う佐賀県市町総合事務組合の消防団員公務災害補償の追加負担金
- 小学校給食用備品購入費 55万2千円
- 田代中学校駐輪場増築工事 301万3千円
- 小学校普通教室用備品購入費 93万5千円
- なかよし会緊急通報システム改修工事 50万円
- 音楽祭委託料 500万円

議員提出議案		市長提出議案		件名	議決結果																				
議会運営委員会の閉会中の継続審査の件	常任委員会の閉会中の継続審査の件	原子力発電所の警備に関する意見書(案)	外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書(案)			放射線による被害対策の早期実施を求める意見書(案)	国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書(案)	サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書(案)	APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書(案)	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書(案)	ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書(案)	鳥栖市議会基本条例	サガン鳥栖J1昇格への祝意を表する決議(案)	鳥栖市議会基本条例	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員候補者の推薦について	指定管理者の指定について	指定管理者の指定について	指定管理者の指定について	指定管理者の指定について	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴うもの	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正	乳幼児及び児童の医療費の助成に関する条例の一部改正	市税条例等の一部改正	平成22年度決算
継続審査(全会一致)	原案可決(賛成多数)	原案可決(全会一致)	原案可決(全会一致)	原案可決(全会一致)	修正可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	異議なし(全会一致)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	原案可決(賛成多数)	認定(全会一致)	認定(賛成多数)	原案可決(全会一致)	修正可決(賛成多数)

◆12月定例会の付議事件と議決結果

常任委員会 審査報告概要

一般会計補正予算の審査の概要は
次のとおりです。(予算額は4ページ)

道路点検 パトロール 実施体制は

債務負担行為の限度額表示についての要望がありました。

建設経済 食糧費の執行状況、新鳥栖駅開業1周年イベントの内容と周知方法、鳥栖コミュニケーションセンターの利用状況と閉鎖の理由についてなどの質疑がありました。

環境対策課 指定ごみ袋購入の事務手続きの流れ、ごみ処理手数料とごみ処理経費の関係、斎場燃料費の推

後期高齢者医療費 増加の要因は

総務 総務課 人件費の補正時期、消防ポンプ自動車等の修繕料の内訳、消防団員等の公務災害補償にかかわる負担金の内容についての質疑がありました。

財政課 基金残高の見込みなどについて質疑があり、平成22年度決算に伴う佐賀県競馬組合の状況について説明を受けました。

市民協働推進課 まちづくり推進センターの職員体制とまちづくり推進協議会の

移についてなどの質疑がありました。

農林課 県営かんがい排水事業の内容、農地災害の取り扱いと制度の周知方法、地域休養施設の温泉源の給水管補修工事費の内容、指定管理料における債務負担行為の設定方法についてなどの質疑がありました。

建設課 住宅リフォーム緊急助成事業の申請状況と経済波及効果、橋梁長寿命化修繕計画策定委託料の減

音楽祭の目的は

社会福祉課 障害者自立支援給付費の今後の見込み、老人福祉センターの今後の活用方法と利用人数

文教厚生 の状況、老人福祉センターの燃料費と光熱水費の各施設の内訳、就労指導員の業務内容と相談件数、災害見舞金の基準についてなどの質疑があり、地域包括支援センターの請願に関する検討の経過と今後の対応について要望がありました。

こども育成課 乳幼児等医療費と幼稚園就園奨励金の

額理由、修繕計画の策定スケジュール、道路改良事業の用地費と補償費の算定基準、平田・養父線の乗目交差点における県事業との調整、今泉・安楽寺線の道路改良事業、道路点検パトロールの実施体制についてなどの質疑がありました。

都市整備課 ミニバス運行事業委託料債務負担行為に

関し、実施地区、ルート、運行業者の変更の可能性、地域公共交通総合連携計画

対象児童数についてなどの質疑がありました。

健康増進課 ちらつス21プランの推進事業について報告を受けました。

教育委員会事務局 構造計算適合性判定手数料の算出根拠、管理栄養士の業務内容、学校給食の自校方式とセンター方式の改修や建設にかかる経費と期間、なかよし会緊急情報システムの仕組みと作動確認についてなどの質疑があり、学校施設の計画的整備についての要望がありました。

音楽祭に関して、開催の

の見直し、実証運行データについて、朝日山公園整備に關し、側溝整備状況、今後の整備予定と新鳥栖駅眺望スペース整備、桜のシーズンの交通規制について、新幹線建設負担金に關し、今後の負担額と支払先、環境対策工事の内容についてなどの質疑がありました。

また、国道3号鳥栖拡幅事業についての報告を受けました。

将来の見直し、本来の目的と本市の目的、広報に関する取り組み、委託料収入の各団体の増減理由、開催した他の都市の実施主体と経費の比較、有料公演に係る委託契約の額、実行委員会の具体的な活動内容、会計処理や協賛金集めに関する職員の関わりについてなどの質疑がありました。

また、まちづくり推進センターの職員配置見直しについて報告を受けました。

一般質問

17人の議員が質問を行いました。
(掲載は、発言順ではなく、内容別です)

サガン鳥栖支援を

質問 中川原豊志議員

鳥栖市をホームタウンとするプロサッカーチーム、サガン鳥栖が悲願のJ1昇格を果たした。鳥栖市として、練習場の整備、確保やクラブハウス設置等の要望もあり、J1定着のため早急に可能な限りの支援をしてほしい。また、来場者へのおもてなしもお願いしたい。

県とも協議連携して検討を進めたい

【答弁】 平成22年度のJリーグ各クラブを事業費ベースで比較すると、J1平均が25億円、最低でも10億円以上の規模である。J2平均は7億5000万円と非常

支援拡大の理由は

質問 松隈清之議員

これまでの固定資産税3免2減から20年間の固定資産税・都市計画税の免除に支援拡大する理由について、去る9月議会で「鳥栖市において民間主導で20億円から30億円を集めることが基本で誘致をした」との答弁があったが、議会としては聞いたこともない。誰が誰に対して、いつの時点でそのようなことを決めたのか。

要望にかかわる前段で鳥栖市の方針と決定した

【答弁】 平成20年2月29日の

県議会で立地場所を鳥栖市とする知事答弁を受け、3月24日の市議会全員協議会で粒子線施設についての決定等の説明をした。それに先駆け2月15日に知事に対して誘致に関する要望をしており、要望にかかわる前段で、唐津で使えた電源関係の交付金額20億円から

重粒子線がん治療施設への支援について

資金集めの当事者は

質問 江副康成議員

重粒子線施設建設にまつわる20億円から30億円という資金集めは、商工会議所の特別委員会が中心かつ主体であり、鳥栖市はそれをサポートするかどうかのような答弁をされているが、県との関係で、重要な要望活動は橋本市長が行っており、資金集めの依頼を市長のほうからされたのではないかと

一緒に今、集めているところである

【答弁】 唐津市の立地であれば、電源立地関係の交付金

資金調達の現状は

質問 森山 林議員

資金調達の現状と実績について。また今後の対応策について。本市への誘致活

30億円を目標額として、民間を中心として調達していくことを鳥栖市の方針として決定した。

【その他質問】 市長マニフェストと現在の施策

が使えますね、ということ

で、それ以外に立地する場合は、それに見合うような資金を民間主体で集めていく必要がありますね、ということがあり、その中で、鳥栖市としても立地を推進する立場から、民間資金の資金集めに協力申し上げようとお話をし、商工会議所としてもそういった特別委員会をつくって資金集めをしていきましようとお話をいただき、一緒に今、集めているところである。

【その他質問】 サガン鳥栖J1昇格にあたって鳥栖市の取り組み／学校給食問題

動の中で、鳥栖市からこの資金を確保するとの提案が県にされたのかどうか。現在の資金調達状況はどうなっているのか、また今後の支援策があるのかを問う。

16億円から17億円程度不足している

【答弁】 鳥栖市に誘致するにあたり、県から唐津市に立地していた場合に使える電源関係の交付金が約20億円から30億円程度あると聞いていたので、それに見合う額を目標に鳥栖地域で民間資金を中心に集めることとした。

平成23年11月末現在の資金調達実績は約8億2000万円となっている。資金計画は約25億円が鳥栖地域の目標額とされており、16億円から17億円程度不足している。

今後の対応策として、鳥栖商工会議所の特別委員会と一体となった取り組みは、進出企業など大手企業も含め鋭意推進し、さまざまなチャンネル、さまざまな機会を見つけ、積極的な資金調達活動を続けたい。

外郭団体と指定管理者制度は

質問 古賀和仁議員

鳥栖市地域振興財団のあり方、指定管理者制度の運用については、再検証が必要と思われる。もしそう考えられるならば、どのような視点で、この指定期間の中で見直しを含めて検討されるのか尋ねる。

公益法人制度改革への対応という視点から考える

質問 今後の公の施設の管理運営は、制度を検証し、

とす市民活動センターの強化を

質問 下田 寛議員

改正NPO法等の制定や、まちづくり推進協議会の発展により、市民活動の機運はますます高まってくる。また、現状を考えると、総合計画に掲げている、とす市民活動センターの強化が今こそ必要だと考えるがいかがか。

より利用しやすい施設となるよう努めたい

回答 第6次鳥栖市総合計画の基本目標として市民の

施設のあり方、指定管理者制度を活用していくのか、いかにいいのかということ、さらに、制度の活用を継続するならば、指定管理者選定の考え方を中心に、運用のあり方を検討することになる。

また、公の施設の管理運営のあり方の再考証や、公益法人制度改革への対応という視点から、地域振興財団の将来的なあり方を考えることにもなる。

その他質問 ◆動物愛護及び管理

視点に立った行政運営を行ううちと掲げており、市民活動団体の育成、支援をさらに強化する必要がある。とす市民活動センターの役割はますます重要になる。

センターの利用者、登録団体が増加傾向にあり、状況を見極め適切な人員配置、設備の充実などを図る必要がある。NPO法人とす市民活動ネットワークの皆さまと連携し、より市民活動に利用しやすい施設となるよう努めたい。

その他質問 ◆緊急雇用対策 / 「州都」の発信

小学生通院無料化 早期実施は

質問 尼寺省悟議員

市長公約の小学生の通院無料化は、選挙から10カ月たつが、市長はそのメドすら表明していない。公約でない音楽祭や重粒子線がん治療施設への支援が足を引っ張っているのではないか。知事は来年より、子ども医療費助成を2分の1行うとのこと。来春より通院無料化する考えはないか。

多額の経費が必要で慎重に考慮する必要がある

回答 小学生通院医療費の助成は多額の経費が必要となり、その原資は市単独の一般財源だけとなることから、歳入の確保については全庁的事案の優先順位、社会経済情勢の変化等について慎重に考慮する必要がある。

今回の3歳以上就学前児童の医療費助成方法の現物給付化に伴い、医療費の動向が不透明であるので、平成24年度は、医療費助成の動向を見極めながら、小学生通院医療費助成の実施について再検討したい。

通学路の安全確保は

質問 国松敏昭議員

鳥栖小学校の通学路、市道秋葉・横田線の三叉路の歩行者の安全確保について、現在その付近で開発も進んでいるが、どのように考えているのか。三叉路の道路改良が困難であれば、鉄道用地を利用した通学路整備により、安全確保に努めるべきではないか。

現時点での事業化は困難である

回答 市道秋葉・横田線は

下水道事業の今後について

質問 太田幸一議員

本市下水道事業は、平成26年に完成をみるが、今後は「建設」から「維持管理」へと施策の転換が図られると考える。そこで、下水道施設の劣化長寿命化計画及び耐震性能について本市の見解を問う。

長寿命化計画に基づき設備更新や修繕を行いたい

回答 管きよについて、現在のとこる目視調査では、

鳥栖小、中学校の通学路で、当該箇所は歩道がなく、離合が困難で、見通しも悪く、地元から安全確保等の要望もある。しかし、用地の確保や交差点形状等さまざまな課題の解決が必要で、現時点での事業化は困難だ。また、長崎本線沿いの鉄道用地を利用した通学路の整備は、学校、地区のPTA、交通対策協議会などのご意見をいただきながら、用地の管理者と用地利用の可能性を協議したい。

その他質問 ◆空き家・廃屋の対策

管割れなどの劣化は確認できていない。今後、管きよ整備が完了すれば、全市の管きよの調査が必要になる。

下水道処理場については、これまで電気機械設備の部分的な交換や修繕を行っているが、本年度と来年度で下水道処理場の長寿命化計画を策定し、今後はこの計画に基づき設備更新や修繕を行いたい。

その他質問 ◆鳥栖市地域防災計画 / 地域主権改革整備法

教育基本法 第10条について

質問 佐藤忠克議員

教育基本法第10条（家庭教育）第1項（親学）の充実と第2項行政支援の実態及び生涯学習・生涯教育と「まちづくり推進協議会」での人づくりにおける役割について教育長の所見を伺いたい。

生涯学習を通じた社会づくりの推進に努めたい

【答弁】 コミュニティの希薄化が社会問題となり「絆」というもの大切さが再認識されるようになった今、教育委員会としても、まちづくり推進協議会を通じて、地域の特徴ある文化や歴史を見直すことで、そこに住む人々が地元への愛着や地域のつながりを感じられるような生涯学習活動を進めたい。

今後、まちづくり推進協議会と連携し、地域住民の学習活動への支援を行い、生涯学習を通じた社会づくりの推進に努めたい。
その他質問 ◆自治基本条例／福祉行政

小学校での 不審者対策は

質問 柴藤泰輔議員

10年前に起きた小学校無差別殺傷事件を機に、より綿密な管理マニュアルが策定され、不審者の校内侵入に対する避難訓練等の防犯対策については徹底されていると思うが、その実際にどう伺いたい。

声かけなどで不審者かどうか認識することが重要

【答弁】 まず来訪者に声かけなどを行い、不審者かどうか認識することが重要であ

学校給食 センター化について

質問 成富牧男議員

計画案に現場の声は十分反映されたのか。評価委員会の中で自校方式の可能性については、どのように議論されたのか。学校給食は、教育委員会の職務権限の一つであり、行革担当で作成された計画案に正当性はあるのか。教育委員会で改めてつくり直すべきではないか。

音楽祭について

質問 中村直人議員

ひとつの事業を展開するには、取り組む覚悟が必要。市民の力が必要。音楽愛好者等の英知を結集する努力が必要。市民参加型の音楽祭を醸成することが大事。

文化芸術を核とした取り組みにぜひとも育てたい

【答弁】 ラ・フォル・ジュルネ音楽祭は、これまで音楽に親しむことが少なかつた皆さま等に広く、楽しさ、面白さを味わっていただくという試みである。取り組みについては、今回時間的に短かつたこともあり、議会の皆さま、市民の皆さまの参画など思うに任せないことなど、実施体制に関して大いに反省し、市民を挙げての音楽祭として、皆さまとともにつくり上げ、育てたいと考えている。

その他質問 ◆道路整備

ることなどから、給食センター化が妥当であるとの評価提言をいただいた。

鳥栖市の学校給食は、市

全体の施設の中でも老朽化等まだまだ大きな問題があることから、早急に解決すべき課題で、本市の行政改革の一つとして位置付けている。

鳥栖市学校給食基本理念・基本計画（初稿）作成にあたっては、定例教育委員会にも諮られ、承認されたものであり問題は無い。

その他質問 ◆音楽祭

音楽祭の評価は、今すぐにはできず、継続させるしかない。市長に政治生命をかける決意はあるのか。

文化芸術を核とした取り組みにぜひとも育てたい

【答弁】 ラ・フォル・ジュルネ音楽祭は、これまで音楽に親しむことが少なかつた皆さま等に広く、楽しさ、面白さを味わっていただくという試みである。取り組みについては、今回時間的に短かつたこともあり、議会の皆さま、市民の皆さまの参画など思うに任せないことなど、実施体制に関して大いに反省し、市民を挙げての音楽祭として、皆さまとともにつくり上げ、育てたいと考えている。

そのためには、まずは議会の皆さま、さらには市民の皆さまと協働した組織、基盤づくりが第一と考え、鳥栖に根ざした組織ができることで、息の長い取り組みが初めて可能となると考えている。

文化芸術を核とした、市民参加、協働による取り組みにぜひとも育てたい。

その他質問 ◆新年度（平成24年度）への対応

議会日誌

－10月－

- 5日 会派代表者会
- 11日 市議会だより編集委員会
- 17日 佐賀県市議会正副議長会（武雄市）
- 18日 総務常任委員会
- 18日～20日 経済常任委員会行政視察
（飯田市・駒ヶ根市）
- 25日～28日 決算特別委員会
- 31日～11月2日 水道事業決算特別委員会

－11月－

- 4日 会派代表者会
議会運営委員会
議会改革検討会
- 8日～10日 総務常任委員会行政視察
（阪南市・八尾市・豊岡市）
建設常任委員会行政視察
（各務原市・高山市・伊勢市）
- 10日、11日 文教厚生常任委員会
- 14日 総務常任委員会
全員協議会
- 15日 議会基本条例市民説明会
- 21日 総務常任委員会
- 22日 会派代表者会
- 24日 議会運営委員会
議会改革検討会
- 25日 総務常任委員会
- 28日 文教厚生常任委員会
- 30日 11月臨時会

－12月－

- 1日～20日 12月定例会
- 20日 市議会だより編集委員会

■鳥栖市議会への視察来庁（10月～12月）

- 14市、1区、1町議会 [来庁者合計134人]
- | | |
|----------|--------------|
| 海田町（広島県） | 玉野市（岡山県） |
| 目黒区（東京都） | 恵庭市（北海道） |
| 松原市（大阪府） | 千曲市（長野県） |
| 尼崎市（兵庫県） | 柏市（千葉県） |
| 浜松市（静岡県） | 向日市（京都府）ほか6市 |

表彰

■旭日双光章（11月3日付）

- 地方自治功勞
黒田 攻（前議員）

陳情

■地球社会建設決議陳情書

荒木 實

■「ラ・フォル・ジュルネ鳥栖」開催に関する要望書

鳥栖商工会議所会頭 中富舒行
協同組合鳥栖商工センター 理事長 松雪秀敏

■「ラ・フォル・ジュルネ鳥栖2012」開催に関する要望書

鳥栖市観光協会 会長 松田 隆

■要望書（公共工事の早期発注、計画前倒し発注等の要望）

鳥栖市建設業協会 会長 今泉重雄
鳥栖市緑化協力会 会長 天本良光
鳥栖市管工事組合 理事長 坂口 實

■玄海原発1号機の安全性に関する要請

玄海原発プルサーマル裁判の会 代表 石丸初美
プルサーマルと佐賀県の100年を考える会
共同世話人 野中宏樹

■平成24年度税制改正に関する提言について

社団法人鳥栖法人会 会長 中富博隆

■ラ・フォルジュルネの開催要望について

鳥栖市手をつなぐ育成会 会長 牧崎 茂

■ラ・フォル・ジュルネ鳥栖音楽祭の継続について

佐藤勝江、芹田洋志、牧崎 茂、ほか有志一同

意見書・決議

■ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

提出：全議員

■国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

提出：自民・天桜・新風・公明・誠和・社民・政友・民主

■APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書

提出：全議員

■原子力発電所の警備に関する意見書

提出：自民・天桜・新風・公明・誠和・政友・民主

■サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書

提出：自民・天桜・新風・公明・誠和・社民・政友・民主

■国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

提出：自民・天桜・新風・公明・共産・社民・政友・民主

■放射線による被害対策の早期実施を求める意見書

提出：全議員

■外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書

提出：自民・天桜・新風・公明・誠和・社民・政友・民主

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しています。

■サガン鳥栖J1昇格への祝意を表する決議

提出：全議員